

やってみたい！できるようになったよ！

ねらい：年長児になることに期待感や自信をもって遊びや活動をする。

作成日：2024年2月27日

対象児：4歳児さくら組

作成者：吉岡愛佳



振り返り：3学期に入り縄跳びやご供養、プリント活動など年長児へむけての活動を多く行うようになりました。園庭では、自分の縄を使って縄跳びが出来ることに喜びを感じながら「私後ろ跳び出来るよ！」「前、50回跳べた！」「片足跳びもできる！」と色々な跳び方に挑戦したりより多く跳べるように挑戦したりする姿が見られます。2学期から長縄をしていることの多いさくら組のみんなですが、3学期に入ってからには跳べることに自信がつき、友達と一緒に2人や3人で長縄を跳ぶことに挑戦しています。私自身、子ども達が少しでも跳べたことや自分でやろうと頑張ったことに少しでも自信をもてるように声をかけたり、できたことを一緒に楽しんだり喜んでいるのですが、誰かが出来るようになると他の子ども「やってみよう！」と思い集まり、挑戦する姿が見られます。また、2月からはご供養を年中児が行うようになり、2月のののさま集会では6名がホールで行いました。その友達の姿を見て「次は私の番？」と期待感をもちながらご供養の活動に取り組む姿が見られました。さくら組での活動は残り少ないですが、色々な活動だけでなく色々な遊びも一緒にできたらと思います。（健康な心と体・自立心・協同性）